

令和4年度

探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

取組のまとめ

北広島町立芸北中学校区研究推進地域

【内容】

I 研究について

II 今年度の取組

III 成果と今後に向けて

I 研究について

1 令和3年度 of 取組から見えてきた課題



- ① 児童生徒の課題意識や必要感を引き出し、主体的な学びにつなげることができるように、全学年の単元のブラッシュアップが必要である。
- ② 児童生徒に身に付けさせたい資質・能力について、指導者が共通のものさしをもち、指導と評価に活用するために、全学年の単元ルーブリックを作成する必要がある。

I 研究について

2 研究主題

児童・生徒自らが探究する生活科・総合的な学習の時間の創造

～身に付けさせたい資質・能力の系統表の作成と

ルーブリックによる評価を通して～

3 研究内容

- ① 身に付けさせたい資質・能力の系統表の改善
- ② 生活科・総合的な学習の時間の単元開発と既存単元のブラッシュアップ
- ③ ルーブリックの作成とそれを用いた評価



Ⅱ 今年度の取組

① 児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力の系統表の改善

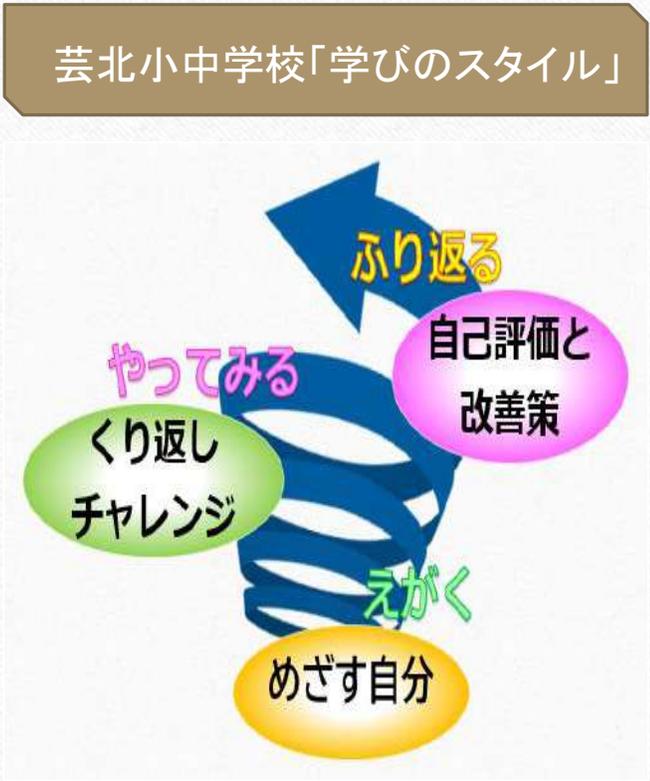
● 資質・能力の再整理

芸北小・中学校が児童・生徒に身に付けさせたい資質・能力	学習指導要領が示す育成すべき資質・能力の3つの柱
協働する力 安全・安心をつくる力	知識及び技能
課題解決力 多面的・多角的な見方・考え方	思考力・判断力・表現力等
意志力 自己回復力	学びに向かう力・人間性等

第1回北広島町「探究的な学習」に関する研究推進協議会

○ 「えがく」学習と「ふり返る」学習を中心にブラッシュアップすることを確認

○ 単元をブラッシュアップするアイデアを交流



みんなで
やきいも大会をしよう!

マッチのすり方
火のおこし方
木の組み方
何をつかえば?

火がおきなかつた
失敗体験をね

火おこしを探究する方

5年 せどやま教室 市場の説明

今まで

- 1回目 6年生と一緒に(学ぶ)
- 2回目 5年生だけ
- 3回目 2回目より増やす

↓

今年度

- 1回目 5年生だけ→とても少ない
もっと増やすには???
- 2回目 せどやま市場のくみは?

探究

はじめてじゃない

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

《活動の概要》

右の地域事業のうち、山から木を運び出して「せどやま市場」で「せどやま券」という地域通貨に換えてもらう活動を3回繰り返す。



Ⅱ 今年度の取組

② 既存単元のブラッシュアップ

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

えがく

クラス目標を決め、ワークシートを用いてめざす自分をえがく。

活動名	せどやま教室（1回目）	学年	5年	名前	
-----	-------------	----	----	----	--

「めざす自分」(自分の目標) ルールなどをまもって、安全に楽しむ。 (安全安心)	関連付けながら 学び進める	学習活動の目標 (本時の目標) 安全に、たくさんの木(500kg以上)を運び出す。
--	------------------	--

「めざす自分」の選択理由 安全にやると、楽しくできるし、たくさんの木がセカれると思っ たからです。	☆具体的な作戦・手立て (ことば、行動)	その手立てのよさ (学習活動の目標との関連)
「めざす自分」と学習活動での自分の行動を関連付けて	協力する。	協力するとみんなとできて楽しむから。
	集中して行動する。	集中すると、まわりがよく見えるから。
	しんきゆうをきる	気持ちを落ち着かせる。
	走ったりしない	けがをしない。
「助け」 楽しくできないかもしれない。 けがをすることもかもしれない。 あせるといふ気持ち	助けを乗り越えるために	

時間	9月30日(金) 8:40 ~12:05	場所	
人	5年生		
もの	服装など：ヘルメット、つなぎ、水筒、タオル、長ぐつ、作業用手ぶくろ、 長めのくつ下、 持って行くもの：のこぎり、ロープ、時計、支給はちまみ		

時刻 対シタ	時間	活動内容(■)と注意すること(※)	大切にすること
	8:40	芸北小学校発	
	8:55	切り出し場所着、活動に関する留意点等(白川さん)簡単な自己紹介、準備体操(小本さん)	
	9:30	せどやま教室1回目の切り出しスタート。	
	9:50	休けい、作戦タイム(活動を振り返り、改善点をさぐる時間)	
	10:00	せどやま教室2回目の切り出しスタート。	
	10:20	休けい、作戦タイム(活動を振り返り、改善点をさぐる時間)	
	10:30	せどやま教室3回目の切り出しスタート。	
	10:50	活動終了、振り返り(自分を振り返る)。	

Ⅱ 今年度の取組

② 既存単元のブラッシュアップ

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

やってみる

① 木を切る



② 軽トラへ
運ぶ



③ せどやま
市場で
計量する



④ せどやま
券を
受け取る



Ⅱ 今年度の取組

② 既存単元のブラッシュアップ

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

ふり返る

めざす自分やクラス目標達成に向けての課題を見つけ、次の活動に生かす。



小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

ポイント1 「教えてもらう」から「自ら学ぶ」へ

- ① 1回目は6年生との活動から学ぶ
⇒1回目から5年生だけで活動し，失敗から学ぶ



クラス目標に全く届かず→児童のやる気UP

- ② アドバイスをもらえる「知恵袋タイム」⇒「作戦タイム」
(児童から質問や応援要請があるまで大人はグッとがまん)



待つ姿勢の児童→自ら行動

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

ポイント2 「より客観的で深いふり返し」へ

① 活動終了後すぐに、あふれる思いを書く



普段なかなか思いが書けない児童も、どんどん書ける

② 児童が書いたふりかえりと、活動中の写真，児童の行動や発言の記録を活用して「ふり返る」授業を構成



話し合い→メタ認知，考えの深まり

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

【児童のふり返り】

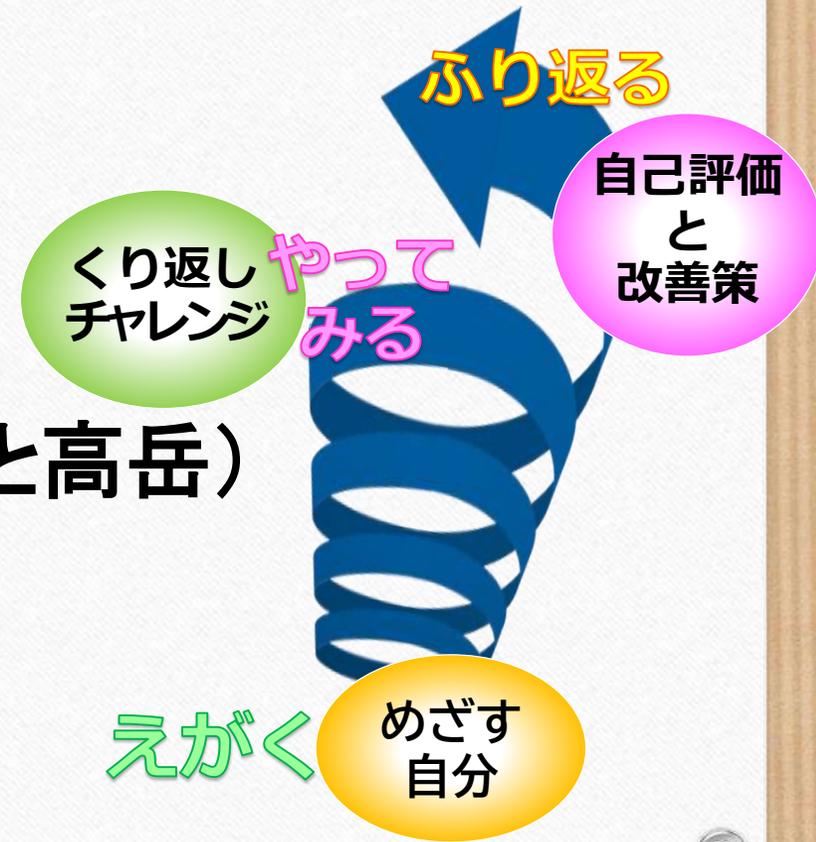
- 前は「無理だ。」という気持ちになってあきらめていたけど、良い作戦を立てることで、自分から挑戦することができるようになった。(意志力)
- 最初は自分一人でやっていたけど、自分一人では何もできないことに気付いて、みんなで協力することができるようになった。(協働する力)
- 木を切る時とか運ぶ時とかに声かけをして、友達を気にかけてあげて、助け合って、みんなで協力することができるようになった。(協働する力)
- 最初は何も分からずに活動をしていたけど、振り返りをするすることで、次はどうすれば良いかが分かった。作戦タイムでも、木をたくさん運ぶためにどんな作戦が良いか考えて、活動をうまく進めることができた。(課題解決力)
- 作業をする場所が安全かどうかを確認することができた。そして、友達が危ない所にいるとすぐに「そこ危ないよ。」と声をかけることができた。(安全・安心をつくる力)

Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北の宝で地域おこし 芸北ジュニアトレッキングガイド」

《活動の概要》トレッキングガイドを通して、**芸北にある豊かな自然を様々な人に伝えていく**

1. 試しの体験（外部講師の方を招聘）
2. ガイド講習会（外部講師の方を招聘）
3. 小中合同遠足（令和4年度は臥龍山と高岳）
4. 一般の方にガイド（八幡湿原）



Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

1. 試しの体験(本物のガイドを体験する)



ガイドさんの案内を受けながら、気づいたことをメモしていきます。

「高原の自然館」
芸北の自然について学べます。



Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

2. ガイド講習会(外部講師の方を招聘)

外部講師として学芸員さんとガイドさんに来校していただく



①学芸員さんによる講義



②検定問題にチャレンジ



③振り返り(学芸員さん, ガイドさんによる講評)

Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

3. 小中合同遠足



臥龍山
(高学年担当チーム)
各グループの列の最前列と最後列に中学生のガイドがつきます。

高岳(低学年担当チーム)ガイドの様子。小学生の体力に合わせて、休憩も兼ねつつ植物等のガイドをします。



Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

5. 一般の方にガイド(八幡湿原)

(1) 準備

やっておかなければならないことを生徒が話し合う。

① 宣伝方法

② 本番の日程決め

③ お客さんについて

どの年齢層の方をターゲットにするか。

どの地域の方に来ていただきたいか・・・など。



初めは自分たちで準備するとはどういうことか分かっていなかった生徒たちも、次第に活動が「自分事」になっていく。

魅せます。芸北
芸北中学校1年生が八幡高原で、
みなさんをガイドするツアーです！

○場所
芸北高原の自然館～八幡高原水口谷 (おおくさぐち) 湿原
(〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原10119-1)

○日時
9月29日(木) - 30日(金) 10:00～11:30 (「芸北高原の自然館」前に9:55集合)
※小雨決行 中止の場合は代表者の方に連絡いたします。

○内容
芸北中学校1年生が八幡高原で動植物など自然についてガイドするツアーです。

○定員
各日20名(先着順) 当日は最大4グループに分かれてトレッキングガイドをします。
※参加予定の方のみ、9月22日(木)までに芸北中学校から電話連絡いたします。

○応募方法
応募用紙 または、QRコード から
締め切り 9月18日(金) 必着  <https://forms.gle/28vCQ8E721fufuZ>

○持ち物・服装
・動きやすい服装 (長袖・長ズボン・運動靴・帽子) ※できるだけ明るい色で
・飲み物 - タオル - 雨具
・靴紐 (お持ちでない方は学校で貸し出します)
・本人確認ができるもの (運転免許証、保険証等)

※新型コロナウイルスの感染対策として、換気、マスクの着用、手洗い等のご協力をお願いします。また、年齢37.5以上の高齢者や病気の療養中、妊娠中の方は、参加をお断りさせていただきます。本ガイドは芸北中学校の総合的な学習の時間の一環として実施します。可能であれば、本校職員がガイド中心の運営を担う予定ですのでお問い合わせください。参加される方の健康保険には加入してありません。この案内は各会場で加入をよろしくご案内いたします。

お問合せ・申込先： 〒731-2323 広島県山県郡北広島町小田10076-90
北広島町立芸北中学校 1学年
TEL: (0826) 35-0151 FAX: (0826) 35-0409
E-mail: geihoku-j@town-kitahiroshima.ed.jp

Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

5. 一般の方にガイド(八幡湿原) (2) 下見

春に来た時とは、咲いている植物の種類が違います。
「シダの葉はどこまでかな？」



ハンズフリー拡声器を装着し、生徒同士でガイドの練習をします。

Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

5. 一般の方にガイド(八幡湿原)

(3)本番 9月29日(木), 30日(金)



当日は快晴で、トレッキング日和でした。両日ともに十数名のお客さんが参加してくださいました。

生徒作成の「ルートマップ」
開会式でこのマップを使ったルートの説明を行いました。



Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

5. 一般の方にガイド(八幡湿原)

(4) 振り返り

(生徒のワークシートより)

- 始めた頃は「大丈夫かな」だったけど、今は「大丈夫。自信を持ってやろう」と思えます。
- いろいろな試みや下見、本番を繰り返したことで、だんだんとできるようになり、自分で行動できるようになった。
- トレッキングガイドは大変だったけど、大変という気持ち以上に、「芸北は楽しい!」「芸北に来てほしい!」という気持ちが大きかったです。

(お客さんのアンケートより)

- ◎植物の特徴を調べていて分かりやすかった。近くで生活していても見ることができていなかった自然にふれることができた。
- ◎自作のマップや見やすい看板など、分かりやすい工夫がされていて大変満足です。

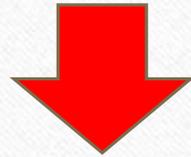


Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

ポイント1 地元のガイドをより深く

昨年度まで 4月の試しの体験を安芸太田町の深入山で行っていた
→今年度から八幡湿原へ



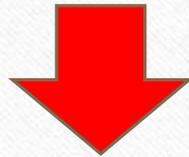
- 季節によって姿を変える八幡湿原の様子を知ること、後にガイドをするときに生かすことができる。
- 1年を通じて同じガイドさんに生徒達のガイドの様子を見ていただくことで、生徒の成長を一緒に見守っていただける。

Ⅱ 今年度の取組 ②既存単元のブラッシュアップ

中1総合「芸北ジュニアトレッキングガイド」

ポイント2 主体性を育成する

昨年度までは、町内の別の中学校の1年生をガイドしていた。
→今年度は一般の方をガイド。



- 学校同士の準備ではなく、生徒が自ら考え、準備しなくてはならない状況となったことで、自ら考え行動することができるようになった。
- 年齢も住んでいる地域もバラバラの方を相手にガイドすることで、甘えが許されない状況となり、自らコミュニケーションを図る努力をすることができるようになった。

Ⅱ 今年度の取組

③ ルーブリックの作成とそれを用いた評価

小5総合「協力して活動しよう～せどやま教室～」

資質・能力		1	2	3
知識・技能	①	学級で設定した目標に向けての自分の役割が分からず、人に言われるまで行動することができない。	学級で設定した目標に向けての自分の役割を理解し、自分の役割を最後までやり切っている。	学級で設定した目標に向けての自分の役割を理解し、お互いを認め合いながら、自分の役割を最後までやり切っている。
	②	木を切ったり運び出したりする際の危険を十分予測できず、危険な場面がある。	木を切ったり運び出したりする際の危険を予測し、安全に活動することができている。	木を切ったり運び出したりする際の危険を予測し、他者に声かけをしながら安全に活動することができている。
思考・判断・表現	①	目標達成に向けての課題や自分が設定した課題の解決に向けて、探究的な学習の過程のうち0～1つを適用させて、取り組んでいる。	目標達成に向けての課題や自分が設定した課題の解決に向けて、探究的な学習の過程のうち2～3つを適用させて、取り組んでいる。	目標達成に向けての課題や自分が設定した課題について、探究的な学習の過程を全て適用させて、解決している。
主体的に学習に取り組む態度	①	「めざす自分」やそれを達成するために選択した具体的な行動が自分に合っていない、または「めざす自分」を達成するために選択した具体的な行動を実行しようとしていない。	「めざす自分」や学習のめあてを達成するために、よいと思った具体的な行動を選択し、実行しようとしている。	「めざす自分」や学習のめあてを達成するために、試行錯誤しながらより良い方法を選び、粘り強く実行しようとしている。

Ⅱ 今年度の取組

③ ルーブリックの作成とそれを用いた評価

中1総合「芸北の宝で地域おこし～目指せ！芸北ジュニアトレッキングガイド～」

総合的な学習の時間 ルーブリック（令和4年度 第1案）北広島町立芸北中学校

		レベル1（概ね満足できる）	レベル2（十分満足できる）	レベル3（期待以上）
知識・技能	協働する力	自分の役割を意識し、仲間と力を合わせながら活動することができる。	自分の役割を理解し、仲間と力を合わせてながら、最後まで自分の役割を果たそうと努力しながら活動することができる。	学習の目的や目標をもとにして、自分の役割を見極め、他者の視点や立場を尊重しながら合意形成を図り、活動することができる。
	安全・安心をつくる力	問題場面に対して、危険を予見することができるか、あるいは危険発生時に対応することができる。	問題場面に対して、危険を予見することができるとともに、危険発生時には事前に予測していた対応の仕方ができる。	問題場面に対して、危険を予見することができるとともに、危険発生時には自ら考え、その場に応じた対応をすることができる。
思考・判断・表現	課題解決力	問題場面に対して、探究的な学習の過程を活用しながら解決しようとしている。	問題場面に対して、探究的な学習の過程を活用しながら解決することができる。	問題場面に対して、探究的な学習の過程を活用しながら解決し、これからの生活に役立てようとするすることができる。
	多面的・多角的な見方・考え方ができる力	活動を通し、自らの意見を中心として内容（＝活動したこと）の振り返りができる。	活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をすることで、自己の成長や課題に気づき、前向きに物事を捉えることができる。	活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をすることで、自己の成長や課題に気づき、視点を柔軟に転換することで、これからの生活に役立てようとするすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	意志力	めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う行動を選択し、実行しようとしている。	めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、計画的に実行することができる。	めざす自分を達成するために、状況に応じた行動を的確に選択し、立案した計画を意欲的・継続的に実行しようとするすることができる。
	自己回復力	ストレスに対し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけ出そうとすることができる。	ストレスに対する自分の特性を理解し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけ、行動意欲を回復しようとするすることができる。	ストレスに対する自分の特性を理解し、いかなる場面においても柔軟にストレスを乗り越える方法を見つけ出し、その方法を活かすことで、行動意欲を回復することができる。

第4回北広島町「探究的な学習」に関する研究推進協議会

○ルーブリック評価したものを基に，成果と課題，改善策を交流
⇒単元計画とルーブリックの修正



Ⅲ 成果と今後に向けて

1 成果

- 単元のブラッシュアップ⇒児童生徒が主体的に学ぶ姿
 - ・「えがく」学習において、課題意識や必要感をもっている児童生徒 82%
 - ・ふり返った内容を次に生かそうとしている児童生徒 100%
 - ・ねらいとする資質・能力を身に付けている児童生徒 85%
- 授業研究は「ふり返る」場面で⇒より具体的な振り返りへ
- ルーブリックの作成⇒めざす姿の明確化⇒指導と評価の一体化
- 全学年、メイン単元のルーブリックを作成
⇒ルーブリックや単元計画の改善点が明らかに

Ⅲ 成果と今後に向けて

◎ 2 課題と今後の改善方策等

①個々の振り返りや全体での話し合いを更に深める手立てが必要



振り返りの書かせ方を小中で統一
指導者のファシリテート力を磨く研修

②ルーブリックを指導や評価に効果的に生かすことが不十分
(育成したい資質・能力が多い, ルーブリック評価が煩雑)



単元や学年ごとに育成したい資質・能力の重点を決める,
チャート形式にする等の工夫

◎ ルーブリック評価を行う場面や方法について検討



END